

尚学院公務員法律専門学校

科目履修・進級・卒業についての注意事項

尚学院公務員法律専門学校（S P u L A）の時間割は、みなさんの卒業や公務員試験合格・資格取得までのスケジュールを考慮して計画的に組まれています。

それぞれの授業科目は、前期では9月、後期では3月までに1科目でも未修得科目がある

と、進級・卒業認定に大きく影響します。

以下の注意事項をよく確認し、日々の自己管理のもと、単位取得に臨んで下さい。

① 公務員採用試験対策授業科目について

1) 成績評価・単位認定

(単位認定)

1. 単位認定のためには以下の全ての条件を満たしている必要があります。

(1) 当該科目の出席率が80%程度以上であること

(毎週末、各科目からの中間報告を行います。)

(2) 担当講師から出された課題・レポートに合格すること

(成績評価)

1. 出席率、課題・レポートの内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度、試験の結果などを総合的に判断し、各学期終了時に評価します。

2. 評価は次のとおりとする。

秀…90～100点 優…80～89点 良…70～89点 可…60～69点 不可…59点以下

3. 学期途中において休学、退学した場合、その学期の成績は評価しない。

4. 成績評価の秀、優、良、可は合格とし、所定の単位を与える。

2) 基準に満たない場合の措置

1. 当該科目の授業の出席率が80%に足りない場合

(前期においては7月末、後期においては3月1週目の中間報告において)

(1) 出席率不足者には、担当講師より課題が出されます。課題の提出・合格によって出席率不足分を補ってもらいます。科目担当講師によっては、出席率不足分に応じて課題が出されることがあります。

(2) 課題提出の際には、所定の費用が発生します。

2. 当該科目の授業の出席率が50%に足りない場合

(前期においては7月末、後期においては3月1週目の中間報告において)

(1) 科目担当講師の指示により追試を実施する場合があります。

(2) 追試の際には、所定の費用が発生します。

3. 課題・追試が不合格だった場合、合格するまで何度でも再提出してもらいます。再提出の際の課題は科目担当講師がその都度指示をします。
4. 出席率不足の課題、レポート、追試、いずれにおいても、授業担当講師から特別の指示がある場合には、その指示が優先となります。

3) 費用

- (1) 追試……500円／1科目
- (2) 出席率不足分課題添削料……300円／1時間不足分（※下記参照）
※出席率不足分課題添削料の計算
(例) 講義時間数 20 時間の科目で出席率が 55% だった場合
出席率 80% までに不足している時間数 5 時間（小数点は四捨五入する。）
⇒課題添削料は、300円×不足 5 時間＝1500円
- (3) 追試の支払いは、全科目対象とする。
- (4) 出席率不足分課題添削料の支払いは、非常勤講師の科目に限る。
- (5) 上記の各費用は指定用紙に記入の上、事務窓口で事前に支払ってください。

② 検定・資格取得対策授業科目について

1) 成績評価・単位認定

(単位認定)

1. 単位認定のためには以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- (1) 当該科目の出席率が 80% 以上であること
- (2) 指定された検定試験・資格試験を受験し、好成績を収めること

(成績評価)

1. 試験の結果に重点を置き、出席率、授業態度などを総合的に判断し、各学期終了時に評価します。
2. 評価は次のとおりとする。
秀…90～100点 優…80～89点 良…70～79点 可…60～69点 不可…59点以下
3. 学期途中において休学、退学した場合、その学期の成績は評価しない。
4. 成績評価の秀、優、良、可は合格とし、所定の単位を与える。

2) 基準に満たない場合の措置

再度検定試験・資格試験を受験し、基準をクリアしてもらいます。

③ 近畿大学通信教育学部授業科目について

単位認定・成績評価ともに近畿大学通信教育学部の基準に準ずる。

④ GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度について

公務員・教養本科では、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を成績評価の指標として取り入れています。ただし、進級要件や卒業要件にはGPA値を用いません。このGPA制度は、進級・卒業のための学習計画を立て、卒業後の進路目標に近づくためにどのようなことを続けていけばよいのか、何が足りないのか、何が必要なのか、自分を見据えたうえで課題を見つけ活用をすることをねらいとしています。

GPA値は以下の式で算出されます。ただし、GPAの小数第3位を四捨五入して、表記は小数第2位までとする。

$$GPA = \frac{\{(修得科目の単位数) \times (取得科目のGP)\}の総和}{総履修登録単位数}$$

実点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下	課題未提出 追試未受験
成績評価	秀	優	良	可	不可	不可
GP	4	3	2	1	0	0

⑤ 進級基準及び卒業基準

1. 進級基準（以下の全ての条件を満たしている必要があります。）

- (1) 出席基準……履修時間 800 単位時間以上
- (2) 検定基準……3級検定を2つ（中国語検定は準4級）（1年次終了時）
- (3) 単位基準……公務員採用試験対策授業科目を全科目単位取得

2. 卒業基準（以下の全ての条件を満たしている必要があります。）

- (1) 出席基準……履修時間 1700 単位時間以上（2年制）
履修時間 3400 単位時間以上（4年制）
- (2) 検定基準……3級以上の検定を3つ（中国語検定は4級）（2年次終了時）
- (3) 単位基準……公務員採用試験対策授業科目を全科目単位取得

3. 基準に満たない場合の措置

- (1) 出席基準においては、公務員・教養本科各担任、コース長の指示により、補習・ボランティア活動等を行い、基準をクリアしてもらいます。
- (2) 検定基準においては、再度検定試験を受験し、基準をクリアしてもらいます。
- (3) 単位基準においては、①の2)に準ずる。

この規定は令和3年4月1日より適用となります。